



あかね
茜ちゃん(平成18年9月5日生)
両親＝松崎雅光・美帆さん〔飯岡〕
「大きな口あけて、
いつもにこにこ！」



ゆうき
優輝ちゃん(平成17年7月19日生)
両親＝飯倉貴英・恵美さん〔鎌数〕
「ダンス大好き！
音楽が聞こえると踊りたくなるんだ。」



いっこう
吉孔ちゃん(平成18年5月30日生)
両親＝渡辺善智・早苗さん〔後草〕
「お散歩だーいすき」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第二十七回

壹筆限地図

モノにはいろいろな単位がありますが、土地を数えるときには一區画のことを一筆と数えます。この一筆ごとに地番が付されています。また、登記簿上で複数の土地を合わせることを合筆、一つの土地を分割することとは分筆などと言います。

この用語、もともとは江戸時代に使われました。かつての土地台帳である検地帳は、土地をその一區切りごとに字・等級・面積・名請人などを一行で記載するのを原則としていました。一筆という呼び方はこのことに由来しています。検地帳が作られなくなつてからも、この言葉は消えることなく生き残りました。

明治六年(一八七三年)の地租改正に伴い、明治初期には各地で改租図が作られました。それが「字限図」「字図」「一筆限図」などです。今回紹介するのもその一つ。「壹筆限地図」は、明治十九年(一八八六年)に米込村で作成されたもので、役所提出分の控えにあたります。A3ほどある大きな台帳で、中には字ごとに作られた大小さまざまな図面が折り込まれ、一地一筆ごとの境界の



確定、土地番号の設定、地番、地目、面積が記載されています。一間を一分(縮尺六百分の一)とし、面積も町反歩の表記です。一筆も非常に細かく、新田村特有の地割がよく分かります。一筆はその面積には関係なく、たとえば一歩に満たない小さな区画も、何反歩もある広い区画も、同じ一筆と呼ばれます。もう少し広い範囲は地割、もっと広くなると字と表現されます。

香取・匝瑳・海上の三郡は、県内でもっとも早く土地測量が進んだ先進地域でした。この時代の図面は「公図」と呼ばれています。現在も官公庁で、登記事務などに使われている貴重な記録なのです。

〔大原學子記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 7日(日) 地区体育祭(中央・干潟(旭)・矢指・共和・豊畑)
- 8日(月) 体育の日
- 21日(日) いきいき旭・産業まつり
(10:00～ 旭スポーツの森公園)
- 28日(日) 市民ミュージカル「ホテルの星」
(14:30～ 東総文化会館)
- 秋のゴミゼロ運動(8:00～ 市内一斉)

編集後記

フィルムで写真を撮ると、フィルムの枚数分仕上がりができます。デジカメの場合、失敗したらすぐ消去できますが、フィルムは撮影結果のすべてを見る者に突きつけてきます。駄作失敗作の多い私は、仕上がりを見て情けなくなります。でもそれら失敗作からは、学ぶことがたくさんあります。また、フィルムの一コマ一コマは、被写体の軌跡、撮影者の軌跡、その場の時間の流れが刻印された紛れもない過去の軌跡であり、そのときのリアルな記憶を私に呼び戻してくれます。(一)